

日経平均は6営業日ぶりに反発。米国は株高、金利低下 横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

6営業日ぶりに反発

昨日の日経平均は、6営業日ぶりに反発となる前日比+165円(+0.5%)の2万8479円で引けた。一方で、ジャクソンホールシンポジウムを控え、売買代金は2兆222億円とおよそ4ヵ月ぶりとなる低水準となるなど、投資家の間では様子見姿勢が漂った。業種別騰落率は、医薬(前日比+1.5%)、保険(同+1.4%)が上昇率の上位、ガス(同▼0.7%)、小売り(同▼0.1%)が下位であった。個別銘柄では、証券会社が目標株価を引き上げた日本電波工業が前日比+12.3%と買われ、原発関連銘柄として日本製鋼所(前日比+6.1%)が物色された。第一三共(同+4.5%)、富士通(同+2.8%)なども高い。一方で、東邦亜鉛(前日比▼2.7%)、大太平洋金属(▼1.5%)、住友金属鉱山(同▼1.0%)など非鉄銘柄、東京瓦斯(同▼2.5%)、大阪瓦斯(同▼2.3%)などが安い。

株式は上昇して金利は低下

現地25日の米国市場では、NYダウは前日比+322ドル(+0.9%)の3万3291ドル、ナスダックは同+207ポイント(+1.6%)の1万2639ポイントで引けた。主要国の金融当局者が招かれるジャクソンホールのシンポジウムがスタートしたが、様々な発言が交錯するなかで、金融市場では株高、金利の低下で反応する格好となった。個別銘柄では、好決算を発表したスノーフレイクが前日比+23.0%の大幅高、前日に市場予想を下回る見通しを発表したエヌビディアだが、業績は底に近いとの見方から前日比+4.0%と買われ、AMD(前日比+4.7%)、マイクロン(同+4.9%)、アプライドマテリアルズ(同+3.4%)など半導体関連銘柄が買われ、SOX指数は前日比+3.6%の上昇で終えた。一方で、決算発表が嫌気されたセールスフォースが前日比▼3.3%と安い。WTI原油先物は、前日比▼2.4%の92.52ドル、米10年債利回りは同▼0.08%の3.02%で終えた。引け後に発表されたアパレルメーカーのギャップの22年5-7月期の決算は売上高、調整後EPSともに市場予想を上回り、時間外で株価は上昇している(7時現在)。

今日の予定

今朝のシカゴ日経平均先物は、大証比+170円の2万8680円で終えている。今朝のドル円は、1ドル136.40円程度(7時15分現在)で推移している。今日は、国内では目立った予定はないが、海外では、米ジャクソンホール会議にてパウエルFRB議長の講演が控えている。

東京市場マーケットデータ

2022/8/25 現在

日経平均	2万8479円
プライム売買代金	2兆222億円
プライム時価総額	711兆6090億円
日経平均予想PER	12.9倍
日経平均PBR	1.2倍
日経平均配当利回り	2.4%

出所: Quick

日経平均パフォーマンス

年初来高値	2万9388円	2022年01月05日
年初来安値	2万4681円	2022年03月09日

出所: Quick

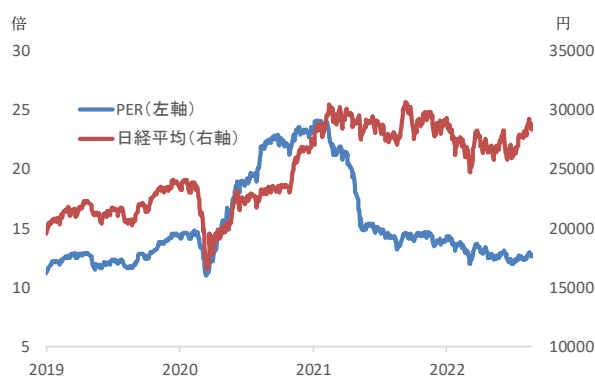
国内株式売買代金ランキング

2022/8/25 現在

	株価前日比
1 レーザーテック	0.5%
2 東京電力 HD	▼0.3%
3 三菱重工	0.5%
4 ソフトバンクグループ	0.3%
5 日本電産	▼2.3%
6 東京エレクトロン	1.2%
7 ファーストリテイリング	▼0.2%
8 日本郵船	0.8%
9 メルカリ	1.7%
10 WSCOPE	3.2%

出所: Quick、アイザワ証券作成

日経平均と予想PERの推移



金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

